

月影



第 45 号

平成二十五年一月十五日発行

浄土宗西山禅林寺派

常林院

じとうみょう

自灯明

ほうとうみょう

法灯明



しやか

釈迦

夜道を照らす
月明かりのように

我が道を照らすのは
他人ではなく

私自身と
佛さま

自らを拠り所とし
佛法を拠り所とせよ

法然上人『一百四十五箇条問答』

ひやくよんじゅうごかじようもんどう

問 い 申していることが思い通りにできない場合、

仏をうらんだりするのは、いかがなものですか。

答 え うらんではいけません。縁によったり、信の有

無によって仏の利益はあるものです。この世でも、のちの世であつても仏におすがりするのにこしたことはありません。

（神も仏もない）という言葉葉があります。

「私の力では、もうどうすることもできません。どうか、お助けください。」と何度願つても救われず、さらに追い打ちをかけるように、厳しい状況に追い込まれた時、思わぬ口に出してしまいたくなる言葉です。

その厳しい状況が、より厳

しいほど、神や仏をうらんでしまいたくなる、という人もおられるかもしれません。しかし、法然上人は「うらんではいけません。」とお答えになられます。

この世の出来事の良し悪しは、ご縁めぐり合わせによって決まります。良いご縁によって良い方へ、悪いご縁によって悪い方へ転じてい

きます。

神や仏にお願いをしたからと言って、物事が思い通りにいくとは限りません。むしろ、この世は思い通りにならないことの方が多いのではないのでしょうか。

何度もつまづき、何度も失敗を繰り返して、それでも再び立ち上がるうとする時、仏さまという大きな存在におすがりし、手を合わさずにはいられないのが人間です。そうやって、悩みや苦しみを抱えて生きている私たちを、阿弥陀さまは何も言わずそっと見守っておられます。少しでも早く、その苦しみが過ぎ去ることを願われながら。



あれこれ

仏教用語



息がぴったり合う様子を「あうんの呼吸」と言います。

阿吽とは、サンスクリット語の「ア」と「ウム」を音写した言葉です。阿（あ）は口を開いて発声する最初の字音であり、吽（うん）は

阿吽（あうん）

口を閉じて発声する最後の字音なので、ものの最初と最後のことを意味します。

寺院の門にある阿吽像や、神社の狛犬（こまいぬ）を見てみると、左の像は口を開いて「阿（あ）」をあらわし、右の像は口を閉じて「吽（うん）」をあらわしています。

彩寺記

修正会（しゅしょうえ）

毎年、新年を迎えると、修正会の法要を勤めます。

修正会とは、元旦を祝い、天下泰平・五穀豊穰を祈願する為、各寺院で行われる法要で、聖武天皇が諸国の国分寺で罪やけがれを払う法要を行わせたのが起源です。

佛前に鏡餅などの供物をお供えし、松が入っためでたい花をお供えします。

常林院では、毎年一月二日に町内檀家様と共に法要を勤めます。



元旦を祝う

雑記抄

本当の悲しみ

▼大切な人を見送った時、しばらく時間が経ってから、ふと悲しみが実感となって、心に湧き起こってくる場合があります。▼へあほやなあと 笑ひのけぞり また笑ふ あなたの椅子に あなたがゐない〜歌人の永田和宏さんの歌です。同じ歌人である奥さんの河野裕子さんを、二年前に乳癌で亡くされた時に詠まれた歌です。▼河野さんは、十年間の闘病生活を送られましたが、その間もずっと歌を詠み続けられました。ベッドの上で歌が浮かぶと、薬の袋やティッシュの箱に歌を書き記されました。病状が悪化し、鉛筆をにぎる力がなくなると、話をす

るように歌をつぶやかれ、それを家族が紙に書き止められる。そうやって亡くなる前日まで歌を詠み続けられました。▼永田さんは、こんなことを言っておられます。「人間と言うのは、自分が何か投げかけた時に返してくれる人間がいるというのはとても幸せなことで、『うん。』という相づちだけでいいんです。『こんなことがあったんだよ。』と言った時、『そう。』と言ってくれる。『良かったね。』と言ってくれる。そういう一人の人間の存在があることがこんなに大事なことであったのかと思う。」と。

▼本当の悲しみというのは何気ない日常の中にあるのかもかもしれません。いつもいた場所にいない。いつも返事が返って来たのに返ってこない。その人がいつも身に付けていた物が抜け殻のように置かれてある。ふとそういういたものに触れた時、本当の悲しみがやって来るように思えます。▼愛する者と別れなければならぬ苦しみを、お釈迦さまは『愛別離苦』と仰いました。これは誰もが経験し、決して避けることのできない苦しみです。▼しかし、姿はなくなっても、その人を忘れない限り、その人は心の中で生き続けます。そして、その人を偲び、供養していくことで、本当の悲しみも、少しずつ、やわらいでいくように思えます。

